

令和5年度

指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間

令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立スポーツセンター及びふじみ野市運動公園等	所管課	文化・スポーツ振興課、公園緑地課
指定管理者名	ふじみ野市指定管理者アイル・オーエンスグループ	施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日	5年間	利用料金制導入
導入年月日	平成24年4月1日	指定回数	3回
施設設置目的	市民のスポーツ活動を推進し、心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の向上を図る。		
施設概要	スポーツセンター（総合体育館、弓道場、多目的グラウンド、テニスコート、駒林体育館、上野台体育館） 運動公園等（運動公園、第2運動公園、荒川運動公園、荒川第2運動公園、びん沼サッカー場） 【総合体育館】 - 敷地面積： 14,343.67㎡ ・供用開始：昭和57年4月、大規模改修後供用開始：平成29年10月 - 施設：アリーナ、多目的室、柔剣道場、会議室1、2、幼児室、ジョギングスペース、ウォームアップスペース、駐車場 【上野台体育館】 - 敷地面積： 1,939.00㎡ ・供用開始：平成15年5月 - 敷地：アリーナ、ロビー、トレーニング室（別棟供用開始：平成30年4月） 【駒林体育館】 - 敷地面積： 16,433㎡の一部（ふじみ野市立さぎの森小学校敷地内） ・供用開始：昭和56年4月 - 施設：アリーナ、ミーティングルーム、幼児室、駐車場 【弓道場】 - 敷地面積：3,753.68㎡ ・供用開始：平成30年11月 - 施設：近的場6的・遠的場2的（アーチェリー兼用）、駐車場 【テニスコート】 - 敷地面積：5,136.00㎡ ・供用開始：平成30年11月 - 施設：砂入り人工芝4面、照明設備、駐車場 【多目的グラウンド】 - 敷地面積： 9,986.09㎡ ・供用開始：平成27年4月 - 施設：ゴムチップ入り人工芝、ソフトボール・少年野球場1面、少年サッカー場1面、フットサル場2面 【ふじみ野市運動公園】 - 敷地面積： 39,703.19㎡ ・供用開始：昭和54年4月 - 施設：野球場1面、砂入り人工芝テニスコート6面、照明設備、ゴムチップ入り人工芝フットサルコート2面、管理棟、3×3バスケットコート2面、練習用コート1面、子ども広場 【ふじみ野市第2運動公園】 - 敷地面積：40,177.34㎡ ・供用開始：平成30年4月 - 施設：アリーナ、卓球場、柔道場、剣道場、多目的球場、駐車場、多目的広場、こども広場、修景広場 【荒川運動公園】 - 敷地面積： 44,483.46㎡ ・供用開始：昭和58年5月 - 施設：野球場3面、サッカー場1面、管理棟 【荒川第2運動公園】 - 敷地面積： 15,863.51㎡ ・供用開始：平成12年6月 - 施設：野球場面2面 【びん沼サッカー場】 - 敷地面積： 10,892.80㎡ ・供用開始：平成14年10月 - 施設：サッカー場1面		
管理運営の基本方針	本施設の管理運営に関して指定管理者の能力を活用しつつ、本施設の設置目的を効果的に達成させ、住民サービスの向上を図る。		
指定管理者の主な業務	本施設の維持管理運営に関する業務、本施設の利用許可に関する業務、市が必要と認める業務		

評価項目

【評価基準】

5：指定管理者のノウハウや努力等により、要求水準を大きく上回っている場合

4：要求水準を上回っている場合

3：要求水準を満たしている場合

2：要求水準を下回っている場合

1：要求水準を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか	評価
管理運営状況	各運動施設が安全・安心に利用ができるよう施設保守点検を徹底すると共に、誰もがスポーツに親しめる機会を充実させる目的でまぜこぜ運動会や元気・健康フェアを市や関係団体と連携して開催した。
区分	具体的な取組の状況・実績
インクルーシブ事業の開催	初めての取り組みとして、パラスポーツ指導者の工藤氏をメインコーチに、パラリンピック出場の平澤氏・八尾氏をゲストに迎え、障がいの有無、国籍等問わず、誰もが運動遊びを楽しめる「まぜこぜ運動会」を6月にキックオフイベントとして開催した。その翌月から始まる、総合型地域スポーツクラブふじみ野ふあいぶるクラブ主催の月一回のまぜこぜ運動クラブ開催へ寄与した。
設備保守自主点検	委託業者による保守点検のほかに、施設職員による毎月の備品等の自主点検を実施した。ロープの劣化や、ねじの緩みを初期段階で発見する等、利用者が安全に利用できるよう管理に務めた。
スポーツ活動地域支援事業	令和5年度に新規の業務委託となる、スポーツ活動地域支援事業を実施した。子どもたちが新たなスポーツを始める機会の創出につながるように、ふじみ野市スポーツ協会・ふじみ野ふあいぶるクラブ、文京学院大学の学生と連携し、市内小中学生に向けたスポーツ体験の場を設けた。令和6年度は、このスポーツ活動地域支援事業を体験型ではなく、既存部活動を支援するスキルアップ支援型で実施する。今後も、地域と連携してスポーツ活動を支援する取り組みを続けていく。

4

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	・売上高、利益ともに継続して堅調。 ・固定資産が少なく、流動資産が多いため、資金繰り上は安定している。売上高、利益ともに順調に推移。	3
その他特記事項	埼玉県内で16市町村、81施設の指定管理事業を展開し、会社として様々なノウハウを共有し、安全、安心な施設管理を継続している。	

3 施設の有効活用

		利用区分等	予定（計画・目標） 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
施設利用状況		スポーツ施設利用コマ数	33,100 コマ	25,695 コマ	98.6%	77.6%	
		スポーツ施設利用人数	163,600 人	105,441 人	100.8%	64.5%	
		運動公園施設利用コマ数	25,600 コマ	29,088 コマ	95.1%	113.6%	
		運動公園施設利用人数	131,700 人	130,858 人	94.2%	99.4%	
	(特記事項) 年間予約の大会やイベントは、新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、コロナ禍前の従来通りの利用者数での開催となった。利用率の低下は、直前の予約キャンセルが多くなっており、各体育館やテニスコートで目立っていた。						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	【運営業務】 利用の許可等の業務、利用料金の徴収業務 【維持管理業務】 建物・設備の維持管理、保守点検業務、清掃業務、植栽管理業務、警備及び駐車場管理業務 【企画事業】 ふじみ野市第19回ロードレース大会、元気・健康フェア、中学生スキルアップ教室、スポーツボランティア養成講座、指導者向けトレーニング教室、スポーツカレッジ、こどもたいていくじゅく、ライフ塾、はじめてのフラ、ピラティス入門、シニア脳トレ運動教室、シニア元気塾、西武ライオンズ親子野球教室		追加事業	【新規】 まぜこぜ運動会 スポーツ活動地域支援事業		
				未実施事業	なし		
	自主事業	【継続】 キッズダンススクール、ウォーターサバゲー、健康体操、アスリート育成応援事業 【連携・協力】 アウトリーチ（市内団体向け） キッズインドアテニススクール（ふじみ野市ふあいぐるクラブ）、バドミントン教室（ふじみ野市ふあいぐるクラブ）		【新規】 かけっこ教室、宇都宮ブレックス・エグゼによる3X3体験、プラチナキッズ（会場として貸出したのち、市民向けアーチェリー体験教室開催）、グラウンド平日お試しキャンペーン（多目的グラウンド、フットサルコート、多目的球場）			
利用サービス向上の取組		・総合体育館ロビーに、フード対応の自動販売機の追加設置をした。 ・第2運動公園西門（新河岸川土手側）を開放することでフリースペースへ出入りをしやすくした。 ・第2運動公園アリーナ多目的トイレ付近に、乳児用おむつ替えスペースを設置した。 ・利用者が安心安全に施設を利用できるように、業者による保守点検のほかに毎月備品の自主点検を実施した。					

3

4 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者満足度調査（その他として利用者からの声、及び利用報告書により要望を受付けた。）	
	(2) 調査、会議等の内容 【調査期間】令和5年11月1日（水）～11月30日（木） 30日間 【調査方法】施設利用者による自記式アンケート（施設受付職員による配布・回収） 820人（未記入は無効回答とした） 【調査項目】利用状況等 管理運営の満足度 【調査場所】総合体育館（多目的グラウンド・弓道場・テニスコート・グラウンドゴルフ場）・上野台体育館・駒林体育館・ふじみ野市運動公園・第2運動公園 【分析機関】第三者機関（株式会社MSS）	
	(3) 調査、会議等の結果 総合満足度は、「満足」と「やや満足」の比率の合計が93.0%と高い評価を得ている。 前回調査と比較すると、満足評価は1.1ポイント、加重平均は0.02それぞれ上昇している。 施設別の満足度は、全ての施設で9割を超え、高い評価を得ている。 スポーツセンター（総合体育館）：93.4%、上野台体育館：91.5%、駒林体育館：93.2%、ふじみ野市運動公園：93.8%、ふじみ野市第2運動公園：93.8%。	
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 ・職員の対応がよく気持ちよく利用させていただいています。（総合体育館） ・気持ちよく通わせてもらっています。コートもとてもよく、続けていきたいです。（上野台体育館） ・弓道場の矢取道に以前はゴミがあったが、最近はきれいに掃除をさせていただいて気持ちがいい。（弓道場） ・非常にきれいな施設で満足させてもらっています。ありがとうございました。（運動公園） ・利用するたびに丁寧な対応をしてくださってありがとうございます。スタッフの方々、優しくて話しかけやすく、とても素晴らしいと思います。（第2運動公園）	4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ①バドミントン利用の際、上を見上げると照明が目に入るコートがある。（総合体育館）②夏場、冷房が欲しい。（全施設） ③予約が取りづらい。（全施設）④カーテン、ネットを直してほしい。（上野台体育館） ⑤公園内禁煙にしてほしい。（運動公園）⑥予約を24時間取れるようにしてほしい。紙媒体でのやりとりが多く、紙の無駄が多い。（第2運動公園） 《対応措置》 ①天井の照明は難しいが、コートサイドの蛍光灯へはカバーを取り付けられるよう工夫した。②現在は冷風機等に対応している。なお、今後空調設備の導入を計画している。③予約システムの入替えとともに運用ルールを変更し、ふじみ野市民の方が取りやすい運用ルールとした。④中長期の要望として市へ引き続き要望を提出していく。⑤喫煙所の位置を変更した。⑥新しい公共施設予約システムでは24時間予約対応となった。オンライン決済も可能となり、領収書等の紙の出力の減少を見込んでい	

5 事業収支

(単位：円)

①指定管理 業務事業収支	指定管理者収支（ 令和5年度 ）				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和5年度決算			令和4年度決算（前年度）	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
収入	利用料金	31,828,000	利用料金	31,086,975	歳入	施設使用料	0	施設使用料			
	事業収入	2,546,000	事業収入	1,728,910		行政財産使用料	515,338	行政財産使用料	680,218		
	指定管理料	95,269,000	指定管理料	100,519,865		国庫支出金	0	国庫支出金			
	雑入	0	雑入	22,997		県支出金	0	県支出金			
	自主事業からの充当	1,598,000	自主事業からの充当	766,155		その他	137,137	その他	136,485		
	計	131,241,000	計	134,124,902		計	652,475	計	816,703		
支出	人件費	70,105,000	人件費	72,874,748	歳出	修繕料	901,175	修繕料	8,818,040		
	消耗品費	3,958,000	消耗品費	3,544,955		保険料	90,024	保険料	217,022		
	光熱水費	6,460,000	光熱水費	11,593,753		指定管理料	100,519,865	指定管理料	96,478,000		
	委託料	8,873,000	委託料	9,915,212		業務委託料	4,392,582	業務委託料	16,500		
	賃借料	2,294,000	賃借料	1,899,930		土地・建物賃借料	1,988,704	土地・建物賃借料	2,145,884		
	通信費	1,292,000	通信費	1,125,406		その他	5,336,480	その他	8,349,370		
	保険料	1,311,000	保険料	305,573							
	修繕費	2,339,000	修繕費	1,539,966							
	事業費（市指定事業）	1,067,000	事業費（市指定事業）	1,131,453							
	公租公課	7,030,000	公租公課	6,970,047							
	一般管理費（本社経費等）	9,180,000	一般管理費（本社経費等）	9,180,000							
	現場管理費	13,339,000	現場管理費	16,157,268							
	事業費（企画事業）	3,993,000	事業費（企画事業）	2,080,788							
	計	131,241,000	計	138,319,099		計	113,228,830	計	116,024,816		
収支	0		△ 4,194,197		差引	△ 112,576,355		△ 115,208,113			
②市への納付金 ※納付金がある施設のみ	市への納付金	支出		支出							
③最終収支（①－②）	収支	0		△ 4,194,197							
●自主事業収支	自主事業収支	収入	4,617,000	収入	2,962,166						
		支出	3,019,000	支出	2,196,011						
		自主事業収支	1,598,000	自主事業収支	766,155						
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】								52.7%		
	事業収支における経営分析				・光熱費の高騰分として指定管理料約4,857千円増額。 ・利用料金収入は昨年度より約2,238千円減となった。昨年度より減額となった理由は、直前の予約キャンセルが多かったため。 ・自主事業からの管理運営費への充当は、計画額までは届いていないが、R4年度に比べ約7.5倍となった。スクール事業参加者が増加傾向にある。 ・消耗品費は物価の高騰もあったが、必要最小限の購入に努め、計画額に収めることができた。 ・保険料は施設賠償保険をR5年度分をR5年3月に支払ったため計画額との差がでている。 ・修繕費は、業者へ委託するだけでなく指定管理者職員の知識を活かし修繕することで、費用を抑えることができた。						
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由										

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

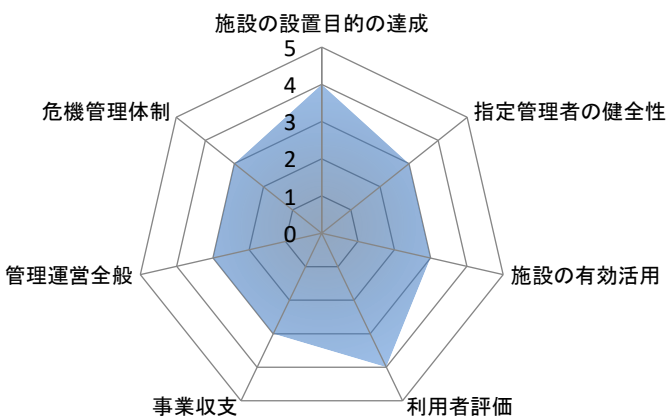
区分	確認内容		適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか		適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	
	配置実績	常勤職員5名、非常勤職員64名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			
特記事項				

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】 A：とても優れている／B：優れている／C：適正である／D：努力が必要である／E：改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		スポーツ・レクリエーション系施設
総合評価	施設の設置目的の達成	4	C		
	指定管理者の健全性	3			
	施設の有効活用	3			
	利用者評価	4			
	事業収支	3			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			
評価理由		・施設の管理運営は、概ね適正に実施されている。 ・利用者からの評価では、満足度で高評価を得ており、指定管理者スタッフに対する満足度が高くなっている。 ・まぜこぜ運動会や、キッズダンススクール、健康体操等、多くの事業を展開し、市民が気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実に寄与した。			
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項		実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項	
	公共施設予約システムを変更し、令和6年度から新しいシステムを導入した。これまで抽選予約の当選確率の低さ等があり、予約が取りにくい状況が課題であった。		課題を解決するため、公共施設予約システムの変更に併せて、従来、団体登録について、2名を要件としていたところを10名に変更し、当選確率を上げることができた。	開催するイベントへ、多くの参加者が集まるように企画の内容を魅力的なものにし、また周知の方法、周知の時期等工夫する必要がある。	

指定管理者自己評価	
(1) 評価期間の取組に対する評価 ①サービス向上に向けての取組 - 新公共施設システム運用に併せて、利用者ガイドを作成した。 - 運動公園で高校生以下を対象に事務所内で貴重品用の無料貸し出しロッカーの運用を開始した。 - 第2運動公園の西門を4月～9月は19時まで、10月から3月は17時まで開放し、新河岸川の土手側から入場することができるようにした。 - 第2運動公園体育館に、乳児用おむつ替えスペースを設置した。 - 総合体育館に近隣にコンビニエンスストア等の店舗が無いことから、ゼリー飲料やお菓子も購入できる自販機を設置した。なお、設置した自販機はカーボンニュートラル対応となっている。 ②業務の効率化に対する取組 - 責任者間で共有できるクラウドツールを導入し、売上や利用状況の共有だけでなく、事業の進捗状況がリアルタイムで確認できるようにした。 - 毎週水曜日15：30～責任者ミーティングを開始した。情報や課題を共有することで円滑な業務運営を行っている。 - 令和5年6月から令和6年1月まで計8回のダイバーシティ研修に統括責任者が参加し、研修を活かし、職場環境を整備し、従業員の満足度や士気を向上させ、事業が活性化するようにつなげていく。 ③その他 - 子どもから高齢者までの幅広い層を対象に、誰もが気軽に参加できる様々な事業を充実させている。R5年度は、障がいの有無、国籍等問わず、運動遊びを楽しめるまぜこぜ運動会を開催した。 - 埼玉県スポーツ協会主催の彩の国ブラチナキッズのアーチェリー会場として総合体育館弓道場を貸出すことで協力した。彩の国ブラチナキッズ終了後には、トップアスリートのコーチ陣により、ふじみ野市民に向けてアーチェリー教室を開催した。 - 埼玉県立川越特別支援学校川越たかしな分校より、職業実習生として春と秋に2回受け入れを行った。 - スポーツ推進審議会に事務局として参加し、会議での意見を参考にして、施設の運営改善につなげている。 - AED講習等の参加。責任者2名は上級救命士を取得した。非常勤職員は市主催のAED講習に参加した。受講歴のない職員をAED講習等に参加させ、緊急時の迅速な対応に備える。 - 熱中症対策として、各施設に暑さ指数（WBGT）計を設置し、顔マークを用いてわかりやすく危険を周知している。 - 安全、安心な施設管理のため、体育施設管理士、スポーツ救急員公認インストラクター、木製床管理者等、有資格者を配置している。 (2) 管理業務実施上の課題 - 企画事業、自主事業ともに参加者増員のための企画や周知に努める。 - 利用率の回復及び向上に努める。 (3) 次年度以降の取組 - 新しい公共施設予約システムに対しての職員の知識向上、運用ルールの周知説明能力の向上を図る。 - 事業の拡充を図り、参加者を増やしていく。 - 暑さ対策として、年々気温が上がっていく中、クーリングスポットを作り熱中症の危険を回避していく。	